

果樹病虫害発生予察調査結果（8／9調査分）
（三条、加茂、田上地域）

8月9日に実施した予察調査結果についてお知らせいたします。

（共通）

- ナシヒメシンクイの誘殺数は昨年より少ないものの、加害樹種の中心は今後、モモからナシへ移行するため、JAの防除情報等を参考にし、被害防止に努めましょう。
- 一部で、ハダニ類の発生が確認されています。高温・乾燥が続くと多発生が懸念されますので、葉裏の寄生状況を観察し、発生初期に防除を実施しましょう。
- クワシロカイガラムシはふ化期を迎えています。園地の状況を確認し、ふ化期のうちに防除を実施しましょう。
- 今回調査でカメムシ類による被害は確認されませんでした。県内他地域では平年より発生が多い傾向です。被害が見られた場合は、夕方に防除を実施しましょう。
- 台風5号の進路に注意し、荒天になる前に防風・排水対策を実施しましょう。

（ナシ）

調査地点ごとに5新梢、100果を調査しました。

- セイヨウナシ褐色斑点病は発生が増加しています。り病葉や落下した果実は見つけしだい園外へ持ち出し、ほうき枝となりそうな徒長枝は、8月末までに整理しましょう。
- 一部で、黒星病の発生が確認されています。発生量の少ない状態が続いていますが、収穫中の品種へのドリフトに注意しながら、定期的な防除で被害防止に努めましょう。

(モ モ)

調査地点ごとに5新梢を調査しました。

- せん孔細菌病は全調査園地において、新梢葉への発病が確認されています。収穫後の防除で、来年の発生量を減少させましょう。

(ブドウ)

調査地点ごとに100葉、100果房を調査しました。

- 目立った被害は確認されませんでした。引き続き定期的な防除や被害部位の除去に努めましょう。

※今後も暑い日が続くので作業中の熱中症にも注意し、十分な水分補給等を行ってください。

次回調査は8月26日(月)を予定しています。

担当 : 中越支所 果樹共済係
TEL : 0258-36-8105
FAX : 0258-34-8020